



【教育理念の要旨】

- 看護の社会的役割を担うことのできる専門職者の育成
- 人間の生命や生活の質を多角的に理解し尊重できる豊かな人間性を育み、科学的思考に基づいた看護を実践できる基礎的能力を育成
- 生涯にわたって学び続ける態度を身に付け、地域における保健・医療・福祉の発展充実に貢献する人材の育成

【目指すべき看護専門学校の姿】

恵まれた自然環境と地域との連携協力、並びに県立病院機構が運営する学校としての強みを活かして、特色ある学校創りを推進する。豊かな感性と看護実践の基礎的能力を有する看護師を育成し、木曾病院をはじめ看護師確保が困難な地域を支える医療チームの一員となる卒業生を継続的に輩出する。

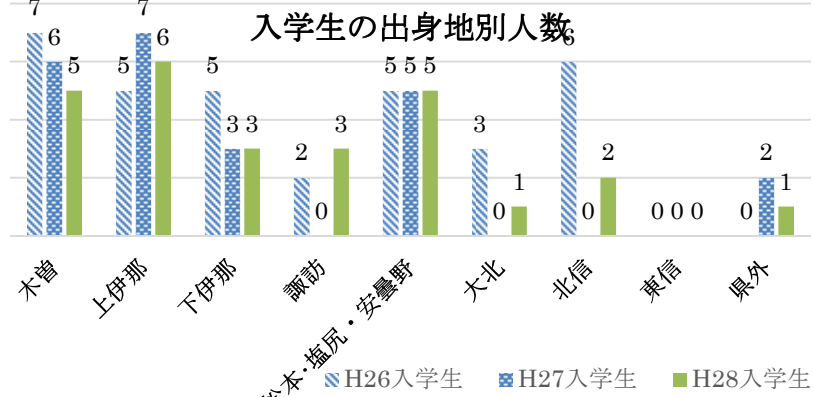
【平成27年度主な取組み】

ア 特色あるカリキュラムと看護の基礎的実践力の育成	1年次 38単位 1050時間、2年次 36単位 1020時間
○地域性を活かした授業内容、課外活動及び学校行事に地域への愛着を育む工夫 ○シミュレーション教育を充実し、基礎的な看護技術の習得と実践力の向上を図る	・本校独自の科目 科学的思考の基盤「環境論」、人間と生活・社会の理解「人間関係論」等展開とともに、課外活動「看護の日」PR活動(5月)、木曾の食育を学ぶ「ほう葉巻作り」(6月)・蕎麦打ち(11月)を実施
イ 教員の安定的確保及び教育力の向上	
○県立病院との人事交流促進により専任教員の安定的確保 ○教務主任講習会への派遣により学校運営を牽引する人材を育成	・県立病院の協力により新任教員1名赴任、臨床兼務教員1名導入(年間とおして学校教育に参加) ・6月～12月教務主任講習に1名派遣、修了後は国試対策の中心的役割
ウ 学生募集及び学生確保に向けた取組	
○近隣地域を主とした高校への積極的な周知とともに、学習意欲の高い学生の確保 ○ホームページ・オープンキャンパスなどを通じた県内及び木曾隣接県への広報活動	・進路相談会・模擬授業等への協力と高校訪問37校 ・オープンキャンパス(8月、10月)在学生協力で2回実施、169名参加 ・ブログで学習や行事の様子を月3回程度紹介
エ 学生の学習環境及び生活環境の整備・充実	
○駐車場・施設設備及び教材の整備など継続 ○学校及び学生宿舍周辺地域との調整等を行い、学生の生活を支援するとともに、地域との交流を促進	・駐車場10月完成、図書室には毎年木曾郡町村会からの寄附等を受け蔵書増4,384冊(H28.4.1時)あわせて司書が図書紹介コーナー設置、文献検索支援など ・第2の学生宿舍提供開始(計28戸)地区での交流
オ 地域関係団体などとの連携・協力体制の構築	
○学校評議会開催で広く意見を求める ○地元行事への参加、学校祭の開催などを通じて地域との交流を深める	・学校評議会(6月)評議員10名委嘱 ・学生全員が年2回以上地元行事等に参加、地域の方々と交流、初の学校祭「白凜祭」には多くの来場者
カ 組織的、継続的な学校運営及び教育活動の改善	
○講師会議・隣地実習指導者会議の開催	・講師会議(3月)非常勤講師21名参加、臨地実習指導者会議(3月)各病院の実習指導者30名参加

学生確保の状況(1学年定員30名)

	H26	H27	H28
試験回数	4回	2回	3回
出願者	136	98	60
受験者	124	86	56
合格者	43	34	29
入学者	33	23	26

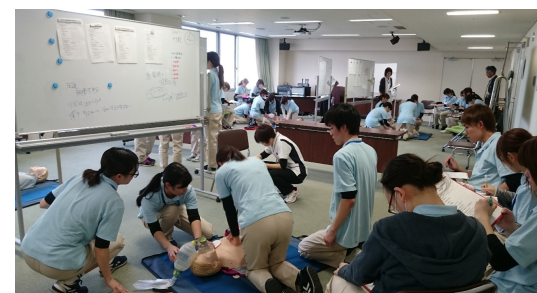
平成26年度入学生中2名退学
平成27年度入学生中2名が休学後復学で
平成28年度1年生は28名



ア 看護の基礎的実践力の育成

・【シミュレーション教育の推進】

- (12月) 救命救急特別講座:本部研修センター
- 1) 機構立の看護学校で学ぶ学生として、県の感染拠点となる県立須坂病院の感染対策における役割及び機能等を理解する。
 - 2) 救急救命のシミュレーション研修を受講し、技術の習得をはかる。
 - ① シミュレーション研修により救急救命に関する技術を習得する。(BLS、ALSの一部)
 - ② ブリーフィング・デブリーフィングについて体験的に理解する。



オ 地域との連携(学生自治会の活動)



【自治会長挨拶より抜粋】

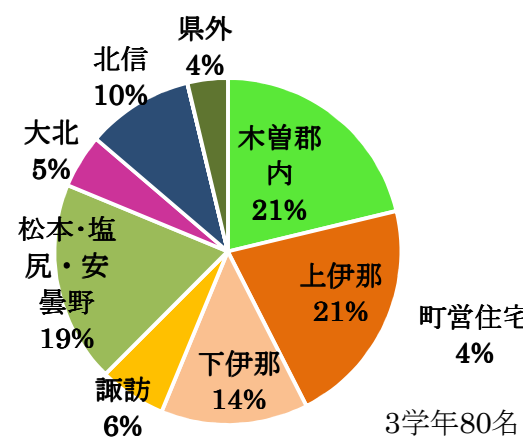
『自治会では、地域に根ざし地域に親しまれる学校になるよう活動していきたい。今回の学校祭をきっかけに、皆様と長く太い繋がりの第一歩がつけられたらと思います。』

(10月)初の学校祭「白凜祭」を開催
来場者:309人
展示・体験コーナー:心臓音・呼吸音を聞いて驚き、教材に興味を沸かした、教科書量に驚き、珍しい、楽しかった、参考になった(アンケートより)

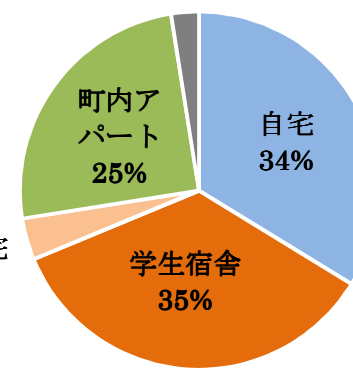


ウ 学生確保に向けた取組

平成28年度 在学生の出身地



在学生の通学の拠点



【オープンキャンパス】

日程:8月、10月
来場者:計169人、1回目103人(受験対象59人)、2回目66人(受験対象39人)
学生の印象:明るい・優しい・親切、笑顔・態度・対応・挨拶がよかった、元気があり楽しそう、話しかけてくれて嬉しかった、話しやすい、一生懸命、生き生きしていた、張り切っていた、気遣いしてくれた、男子が多くてほっとした(アンケートより)

【今後の課題】

- ・3学年分のカリキュラム調整及び実習体制の整備
- ・基礎学力向上及び国家試験へのサポート体制の充実
- ・看護技術の実践的な学びを深める教材の充実
- ・教員の計画的育成と教育力の向上
- ・学生確保(受験者数と基礎学力)につながる広報活動(県内高等学校への情報伝達の強化など)
- ・教育自己評価の仕組みを構築